



2016年5月13日

各 位

会 社 名 王子ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 矢嶋 進
(コード：3861、東証第1部)
問合せ先 常務グループ経営委員
コーポレートガバナンス本部
副本部長 武田 芳明
(TEL. 03-3563-1111)

関係会社株式の減損処理による損失計上および 2016年3月期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2016年3月期決算（2015年4月1日～2016年3月31日）において、当社および当社子会社が保有する関係会社株式の減損処理による損失を下記の通り計上することになりました。

また、2016年2月4日に公表いたしました業績予想と本日公表の実績において差異が生じたので併せてお知らせいたします。

記

1. 子会社株式の減損

2016年2月4日に公表いたしました「中国子会社減損損失の発生、及び特別利益の計上ならびに業績予想修正に関するお知らせ」のとおり、江蘇王子制紙有限公司（以下「江蘇王子」）における印刷情報メディア事業用資産について、2016年3月期の連結決算において固定資産減損損失56,641百万円（3,085百万元、2015年12月末レート18.36円/元）を特別損失に計上いたします。

この減損損失計上に伴い、当社の連結子会社である王子製紙株式会社（以下「王子製紙」）は、王子製紙が保有する江蘇王子に対する出資持分の実質価額が著しく低下したため、王子製紙の個別決算に關係会社株式評価損67,600百万円を特別損失に計上いたします。なお、關係会社株式評価損は、連結決算上相殺消去されます。

2. 関連会社（持分法適用関連会社）株式の減損

当社が、持株会社を通じて34.34%出資するインドネシアの植林事業会社PT. Korintiga Hutani（以下「KTH」）の業績が、現地通貨安などの影響により当初計画した事業計画から乖離したため、2016年3月期の連結決算においてKTHに係るのれんの一時償却等3,820百万円を「持分法による投資損失」として営業外費用（営業外収益「持分法による投資利益」の減額）に計上いたします。

また、2016年3月期の個別決算において、KTHの持株会社に対する出資持分の減損処理を行い、關係会社株式評価損として8,084百万円を特別損失に計上いたします。なお、關係会社株式評価損は、連結決算上相殺消去されます。

KTHの業績は当初の事業計画から乖離が生じてはいるものの、当社グループ全体でのシナジー創出に貢献しており、今後も更なる効果発現に努めてまいります。

3. 業績予想値と実績値の差異について

2016年3月期連結業績（2015年4月1日～2016年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,530,000	70,000	65,000	25,000	25.29
実績値 (B)	1,433,595	73,685	62,362	15,257	15.44
差異額 (B-A)	△ 96,405	3,685	△ 2,638	△ 9,743	
差異率 (%)	△ 6.3	5.3	△ 4.1	△ 39.0	
(ご参考) 前年同期実績 (2015年3月期)	1,347,281	46,694	52,970	17,344	17.55

(差異の理由)

営業利益は前回発表予想を上回る一方、評価性の為替差損失や、上記2.の「持分法による投資損失」を計上したこともあり、経常利益は前回発表予想を下回り、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益が予想を下回ったことに加え、グループ会社の生産設備停止を決定したこと等に伴う事業構造改善費用を特別損失に計上したことや税制改正による税金費用の見直しもあり前回発表予想を下回りました。

以 上